

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科： 国語

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（ 組：松井武士 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 大修館書店 新編 現代の国語 ）

教科 国語

国語

単位数： 2 単位

現代の国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【主体的に学習に取り組む態度】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目	現代の国語	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
		【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 ことばをひらく 【知識及び技能】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組み、「現代の国語」の学習に前向きに取り組ませる。	・指導事項：筆者の考えを読み取り、「現代の国語」の学習に対する意欲をもつ。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○	○	【知識及び技能】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記のしかたなどを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】文章を読んで筆者の主張を読み取ることに意欲的に取り組み、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	2 日本語を使いこなす 【知識及び技能】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使わせる。 【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】言葉に対して興味をもち、場面や目的に応じた言葉の使い分け、敬語、類義語の使い分けの学習に積極的に取り組もうとしている。	・指導事項：場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使いわせる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○	○	【知識及び技能】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】言葉に対して興味をもち、場面や目的に応じた言葉の使い分け、敬語、類義語の使い分けの学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	3 わかりやすく説明する 【知識及び技能】文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】説明的な文章を読むことに興味をもち、順序や接続表現、問題提起と答えに注意して読ませる。	・指導事項：説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	○	○	○	【知識及び技能】文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】説明的な文章を読むことに興味をもち、順序や接続表現、問題提起と答えに注意して読もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者： 播正 圭史

使用教科書： （ 高等学校 公共（帝国） ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	A 青年期と社会参画 【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解する。 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる力を身に付ける。	・指導事項 青年期における自己と社会のあり方の理解に基づき、社会に参画する自立した主体としてのあり方生き方について自分の意見を表現することを通じて社会形成とそれに結びつく、自らのキャリア形成について扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思考・判断・表現】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	5
	B 宗教・思想・伝統文化と社会 【知識及び技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる力を身に付ける。	・指導事項 私たちが生きる社会を形成する伝統や文化、宗教、古来の日本人の考え方などへの理解に基づき、私たちはお互いの立場を理解し合う社会的な存在であることについて自分の意見を表現することを通じて自らの価値観や他者の価値観、それらを形成する背景や要因について扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	C 倫理的な見方・考え方 【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機と公平などの善悪を重視する考え方などについて	・指導事項 先哲の考え方の理解に基づき、公共的な空間における人間としてのあり方・生き方について自分の意見を表現すること	【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機と公平などの善悪を重視する考え方などについて				

学期	個人としてのあり方生活の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見い出すことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解する。 人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見い出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としてのあり方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、現代社会に見られる	個人としてのあり方生活の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見い出すことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見い出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としてのあり方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	5
	D 社会の基本原理と憲法の考え方 【知識・技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について日本国憲法を踏まえて理解する。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現できる力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる力を身に付ける。	・指導事項 公共的な空間における基本原理としての日本国憲法の考え方の理解に基づき、個人と社会の関係等について自分の意見を表現することを通じて、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間に生じる課題を探究することの大切さ等について扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について日本国憲法を踏まえて理解している。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
	E 法の意義と司法参加 【知識・技能】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した法的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる姿勢を身に付ける。	・指導事項 法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき、身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し、自らの意見や主張を表現することを通じて、法の意義や司法参加について関心を高める。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した法的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	7

F 民主社会と政治参加 【知識及び技能】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した政治的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる姿勢を持つ。	・指導事項 さまざまな意見や利害を調整するという政治の意義や統治機構のしくみの正確な理解に基づき、よりよい社会を構成するための取り組みについて、自分の意見を表現することを通じて、政治参加と公正な世論の形成、地方自治等について扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した政治的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
G 国際政治の動向と平和の追求 【知識・技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した政治主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる力を身に付ける。	・指導事項 国家主権や国際法によって成立する国際社会の正確な理解に基づき、我が国の固有の領土に残る問題の平和的な解決や安全保障、国際連合における国際貢献について、自らの意見や主張を表現することを通じて、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際社会における我が国の役割などについて扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した政治主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	8

Ⅱ 市場経済のしくみ 【知識・技能】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる力を身に付ける。	・指導事項 希少な資源を効率的に配分する市場メカニズムに対する正確な理解に基づき、公正かつ自由な経済活動が行われる社会を構成するための取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、市場経済の機能と限界、金融の動き、財政及び租税の役割について扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
Ⅰ 豊かな社会の実現 【知識・技能】 職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる力を身に付ける。	・指導事項 変化する産業構造と労働のあり方、社会保障の意義と課題に対する正確な理解に基づき、国民福祉の向上に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識・技能】 職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
Ⅲ 国際経済の動向と格差の是正 【知識・技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。	・指導事項 グローバル化の進展により経済活動が世界的な規模で行われていることに対する正確な理解に基づき、貧困や格差のないよりよい国際社会の形成に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、経済のグローバル化と相互依存の深まり、国際社会における貧困や格差の問題について扱う。	【知識・技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。				

3 学 期	を機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わる力を身に付ける。	の問題などについて扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	たせることか必要であることについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	5
	K 持続可能な社会の実現に向けて 【知識及び技能】 これまでの学習を振り返りながら、地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだす力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 これまでの学習を振り返りながら、課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を振り返りながら、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み、持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わる力を身に付ける。	・指導事項 これまでの学習を振り返りながら、各領域を横断する課題を探究する単元であり、「公共」のまとめとして扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【知識及び技能】 これまでの学習を振り返りながら、地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 【思考力、判断力、表現力等】 これまでの学習を振り返りながら、課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を振り返りながら、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み、持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計 70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 数と式 【知識及び技能】 数を実数まで拡張し、簡単な四則計算をする。 【思考力、判断力、表現力等】 既に学習した計算の方法と関連付けて、目的に応じて適切に変形したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用する。	・指導事項 身近な事例と関連付けて、四則計算を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	A 数と式 【知識・技能】 数を実数まで拡張し、簡単な四則計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 既に学習した計算の方法と関連付けて、目的に応じて適切に変形したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用できる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 二次の乗法公式 【知識及び技能】 二次の乗法公式の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に文字式に対する興味・関心を高めようとする。	・指導事項 小学校や中学校で学習した、数量の関係を式に表したり式を事象と関連付けて解釈したりする力、式を用いて説明する力を生かして二次式の展開を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	B 二次の乗法公式 【知識・技能】 二次の乗法公式を理解する。 【思考・判断・表現】 既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に文字式に対する興味・関心を高める。	○	○	○	18
定期考査				○	○		1
2 学 期	C 二次の因数分解 【知識及び技能】 二次の因数分解の公式の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 二次の乗法公式と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に因数分解に対する興味・関心を高めようとする。	・指導事項 展開の逆演算として、二次の因数分解を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	C 二次の因数分解 【知識・技能】 二次の因数分解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 二次の乗法公式と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に因数分解に対する興味・関心を高めている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	D 無理数の計算 【知識及び技能】 無理数の四則計算ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自然数、整数、有理数及び無理数を実数としてまとめ、数を拡張する意	・指導事項 根号の付いた数の加法及び減法、乗法公式などを利用した乗法、分母が二項程度までの分数の形に表された数の分母の有理化を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン	D 無理数の計算 【知識・技能】 無理数の四則計算ができるようになる。 【思考・判断・表現】 自然数、整数、有理数及び無理数を実数としてまとめ、数を拡張する意義や数の体系について理解している。	○	○	○	12

	義や数の体系についての理解を深める 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に無理数に対する興味・関心を高めようとする。	・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に無理数に対する興味・関心を高め ている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 一次不等式 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に不等式に対する興味・関心を高めようとする。	・指導事項 日常の事象や社会の事象などに関連付けて不等式を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	E 一次不等式 【知識・技能】 不等式の解の意味や不等式の性質、不等式の解法を理解している。 【思考・判断・表現】 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に不等式に対する興味・関心を高めようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用）理科

科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：（ 橋本 怜奈 ）

使用教科書：（ 実教出版 科学と人間生活 ）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 科学と技術の発展 【知識及び技能】 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとする。	・指導事項 身近な科学技術の例を取り上げ、その変遷と人間生活の変化との関わりを扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	A 科学と技術の発展 【知識・技能】 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとしている。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		1
	B 物質の科学 【知識及び技能】 物質の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとする。	・指導事項 代表的な金属やプラスチック、衣料材料として用いられる代表的な天然繊維及び合成繊維、食品中の主な成分である炭水化物、タンパク質及び脂質を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	B 物質の科学 【知識・技能】 物質と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとしている。	○	○	○	14
	定期考查			○	○		1
	B 生命の科学 【知識及び技能】 生命の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生命の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとする。	・指導事項 遺伝子の働き、視覚、血糖濃度の調節、免疫、アレルギー、生態系での物質循環における微生物の働き、発酵食品や医薬品への微生物の利用についての基本的な仕組みについても扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	B 生命の科学 【知識・技能】 生命の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生命の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとしている。	○	○	○	11

2 学 期	定期考查			○	○		1
	C 光や熱の科学 【知識及び技能】 光や熱の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 光や熱の科学について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとする。こと。	・指導事項 光の波としての分類や性質を扱う。 熱量の保存、仕事や電流による熱の発生、エネルギーの変換を扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	C 光や熱の科学 【知識・技能】 光や熱の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 光や熱の科学について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとしている。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
3 学 期	E 宇宙や地球の科学 【知識及び技能】 宇宙や地球の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 宇宙や地球の科学について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとする。こと。	・指導事項 太陽や月が地球の大気や海洋、人間生活に及ぼす影響を扱う。また、地域の自然景観とその変化、自然災害を地域の地質や地形、気候などの特性や地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	E 宇宙や地球の科学 【知識・技能】 宇宙や地球の科学と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 宇宙や地球の科学について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとしている。	○	○	○	13
	F これからの科学と人間生活 【知識及び技能】 これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとする。こと。	・指導事項 生徒の興味・関心等に応じて、自然や科学技術に関連した課題を設定し考察する。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	F これからの科学と人間生活 【知識・技能】 これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深めている。 【思考・判断・表現】 これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めようとしている。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用）		教科	保健体育	科目	体育
教科：	保健体育	科目：	体育	単位数：	2 単位
対象学年組：	第 1 学年	組～	組		
教科担当者：	（ 保坂 ）	（ 二階堂 ）			
使用教科書：	（ 現代高等保健体育 ）				
教科	保健体育	の目標：			

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての他者や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目	体育	の目標：
【知識及び技能】		運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1 単元名 体づくり運動						
	【知識及び運動】 ・ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 ・イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。	○	○	○	7
	【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 ①体力テスト練習・実施 ②縄跳び	【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いを助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。				
1 学 期	2 単元名 球技 バレーボール						
	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	○	○	○	14
	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	①バレーボール ・サーブ、レシーブの基礎基本	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				
	3 単元名 バドミントン						

2 学 期	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 バドミントン ・バドミントンの基本ルール ・ハイクリアー、ドライブ、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ等各ショットの打ち方、使いどころ ・ゲームにおいての攻め方、守り方の考え方	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	○	○	○	14
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。				
4 単元名 バスケットボール							
2 学 期	【知識及び技能】 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人1台端末の活用	・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 バスケットボール ・基本ルール ・ドリブル、ハンドリング、ゴール下シュート	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	○	○	○	14
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。				
5 単元名 体育理論 【スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展】							
2 学 期	【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人2台端末の活用	【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化 ・現代のスポーツの意義や価値 ・スポーツの経済的効果と高潔さ ・スポーツが環境や社会にもたらす影響	【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について自主的に取り組むことができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について自主的に取り組むことができる。				
5 単元名 陸上競技							
3 学 期	【知識及び技能】 長距離走について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、自己に適したペースを維持して走ることができるようにする	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人2台端末の活用	【知識及び技能】 長距離走について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、自己に適したペースを維持して走ることができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする	【指導項目・内容】 長距離走 ・インターバル走、レベティショントレーニング、ロングスロウディスタンス等に持久力向上トレーニングについて ・長距離走の呼吸法 ・長距離走の足の運び方や手の振り方といった走り方について	【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	○	○	○	6
	【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。				
3 単元名 卓球							

3 学 期	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。	【使用教材】 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	○	○	○	8
	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【指導項目・内容】 卓球 ・卓球の基本ルール ・フォアハンド、ツッツキスマッシュ等 各ショットの打ち方、使いどころ ・ゲームにおいての攻め方、守り方の考え方	【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技について自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについて話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いを助け合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。				

高等学校 令和7年度（1学年用）		教科	保健体育	科目	保健
教科：保健体育	科目：保健	単位数：	1	単位	
対象学年組：第 1 学年 1 組～					
教科担当者：（保坂）					
使用教科書：（現代高等保健体育）					
教科 保健体育	の目標：				

- 【知識及び技能】
- 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健	の目標：				
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身に付いている。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 単元名 健康の考え方						
	【知識及び技能】 ・国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする。 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解できるようにする。 ・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることを理解できるようにする。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解している。 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解している。 ・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることを理解している。	○	○	○	6
	【思考力・判断力・表現力等】 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方に踏まえて整理すること。 ・現代社会と健康における辞書や情報などについて、健康にかかわる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見すること。	【指導項目・内容】 ①日本における健康課題の変遷 ②健康の考え方と成り立ち ③ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり ④健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり	【思考力・判断力・表現力等】 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方に踏まえて整理することができる。 ・現代社会と健康における辞書や情報などについて、健康にかかわる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。				
	【学びに向かう力・人間性等】 ・健康の考え方について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。		【学びに向かう力・人間性等】 ・健康の考え方について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
2 学 期	2 単元名 生活習慣病などの予防と回復						
	【知識及び技能】 ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。	【使用教材】	【知識及び技能】 ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることを理解している。	○	○	○	7
	【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取り組みや社会的な対策を整理すること。	【指導項目・内容】 ①生活習慣病の予防と回復 ②身体活動・運動と健康 ③食事と健康 ④休養・睡眠と健康 ⑤がんの予防と回復	【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取り組みや社会的な対策を整理することができる。				
	【学びに向かう力・人間性等】 ・生活習慣病などの予防と回復について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。		【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病などの予防と回復について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
	3 単元名 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康						

2 学期	【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり、心身の健康を損ねることを理解できるようにする。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚せい剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価すること。 【学びに向かう力・人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人1台端末の活用 【指導項目・内容】 ①喫煙と健康 ②飲酒と健康 ③薬物乱用と健康	【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり、心身の健康を損ねることを理解している。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚せい剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	6
4 単元名 精神疾患の予防と回復							
3 学期	【知識及び技能】 ・精神の疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要である事を理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理すること。 【学びに向かう力・人間性等】 ・精神疾患の予防と回復について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人1台端末の活用 【指導項目・内容】 ①精神疾患の特徴 ②精神疾患への対応	【知識及び技能】 ・精神の疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要である事を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・精神疾患の予防と回復について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	4
5 単元名 安全な社会生活							
3 学期	【知識及び技能】 ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連している事を理解できるようにする。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることを理解できるようにする。 ・交通事故を防止するには、自他の生命の尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全な社会生活における事象や情報などについて、安全にかかわる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見すること 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会づくりについて自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	【使用教材】 教科書「現代高等保健体育」 一人2台端末の活用 【指導項目・内容】 ①事故の現状と発生要因 ②交通事故防止の取組 ③安全な社会の形成	【知識及び技能】 ・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連している事を理解している。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることを理解している。 ・交通事故を防止するには、自他の生命の尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・安全な社会生活における事象や情報などについて、安全にかかわる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会づくりについて自ら学び主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	6

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅠ

教 科： 外国語（英語） 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者： （ 1組：清水俊秀

使用教科書： （ VISTA English CommunicationⅠ New Edition ）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】 基礎基本の知識である英単語と英文法の知識を体系的に理解するとともに、アウトプットを行い英文として表現することで知識の定着を図る。

【思考力、判断力、表現力等】 例文を元にして、学習した文法を活用しながら独自の英文を作成させる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 英語話者の考え方や文化を認識して、積極的に英語を活用して表現しようとする態度、英文を読んだり、聞いたりすることで、そのことについて自ら問題解決しようと挑戦する態度及び創造性の基礎を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【正確な聞き取り】 ・ 英語を正確に聞いて、どの絵を指しているのかを聞き取ること。 【適切な聞き取り】 ・ 絵を見なくても、聞いた単語の意味を適切に理解できること。	【正確な発話】 ・ 身の回りにあるものの名前を、アクセントに留意して英語で正確に発音できること。 【適切な発話】 ・ 絵が示すものを、聞き手が理解できるように適切に発音できること。	【言語活動への取り組み】 ・ 基本的な英語の単語に積極的に慣れようとしていること。 【より積極的なコミュニケーションへの態度】 ・ 必要に応じて辞書などを活用し、学んだ単語を積極的に発話していること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	話 【 発 】	書					
1 学 期	A 単元 L.1 Kerama Blue 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介を英語で行えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と、海とそのサンゴ礁を守る島民の努力について考える。	・指導事項 be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	A 単元 L.1 Kerama Blue 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 自己紹介を英語で行えるようになってきている。 【学びに向かう力、人間性等】 慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と、海とそのサンゴ礁を守る島民の努力について議論できている。	○	○	○	5
	B 単元 L.2 Cool Japan 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の魅力を、海外の人からの視点を通して知る。	・指導事項 疑問文では、疑問詞を用いる場合、用いない場合でその答え方が違うことに留意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	B 単元 L.2 Cool Japan 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになってきている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の魅力を、海外の人からの視点を通して知ることができている。	○	○	○	5
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	C 単元 L.3 Mexican Dishes 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界無形文化遺産であるメキシコ料理と、その特色ある食文化について知る。	・指導事項 一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。 また、助動詞の意味の違いに注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	C 単元 L.3 Mexican Dishes 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになってきている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界無形文化遺産であるメキシコ料理と、その特色ある食文化について知り、それについて自分の考えを表現できている。	○	○	○	9
	D 単元 L.4 The Olympics 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 近代オリンピックの発祥と理念、過去の競技、またパラリンピックについて知る。	・指導事項 I think that ～ の構文を使って自分の考えを言えるようにする。 また、動詞のあとの語順に注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	D 単元 L.4 The Olympics 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになってきている。 【学びに向かう力、人間性等】 近代オリンピックの発祥と理念、過去の競技、またパラリンピックについて知り、自身の意見をまとめ、発表することができている。	○	○	○	9
	定期考査		○	○			○		○	○		1
2 学 期	E 単元 L.6 Toothbrushing in Edo 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・江戸時代の生活習慣（歯磨き）について知る。	・指導事項 日本文化を英語で紹介させる。また、動詞と動名詞の違いに注意させる。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	E 単元 L.6 Toothbrushing in Edo 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになってきている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・江戸時代の生活習慣（歯磨き）について知り、自身の意見をまとめ、発表することができている。	○	○	○	6
	F 単元 L.7 Machu Picchu 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界遺産であるマチュ・ピチュとその文化、また複合遺産に指定されている理由について知る。	・指導事項 動詞の過去分詞形に慣れさせる。 また現在、過去、現在完了を使い分けられるようにする。 ・教材 ・ICT機器 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	○	F 単元 L.7 Machu Picchu 【知識及び技能】 基本的な英単語を覚えている。 【思考力、判断力、表現力等】 英会話の基本フレーズを使えるようになってきている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界遺産であるマチュ・ピチュとその文化、また複合遺産に指定されている理由について知り、発表を行う。	○	○	○	6
	定期考査		○	○			○		○	○		1

[illegible]

高等学校 令和7年度（1 学年用）		家庭基礎	家庭基礎
教 科：	家庭科	科 目：	家庭基礎
対象学年組：	第 1 学年	単位数：	2 単位
教科担当者：	横手 直美		
使用教科書：	（ 実教出版 家庭基礎 気づく力 築く未来 ）		
教科	家庭	の目標：	

【知識及び技能】	家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家族や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目	家庭基礎	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 家族の形、家庭のあり方や役割について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について興味・関心をもつ。	・指導事項 身近な事例と関連付けて、自分らしい生き方と家族について扱う。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	A 自分らしい生き方と家族 【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について興味・関心をもとうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 子どもとのかかわる 【知識及び技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの心身の発達、現在の子どもの取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもを取りまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考える。	・指導事項 子どものあるところを振り返ることで、基本的生活習慣や社会的生活習慣の身につけ方を学ぶ。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	B 子どもとのかかわる 【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもの取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもを取りまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	18
2 学 期	C 高齢者とかかわる 【知識及び技能】 高齢化社会の現状や課題について情報収集、調査・研究をし、課題解決に向けて考えをまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 要介護の高齢者と接する上で気をつけるべきことを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢化社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとする。	・指導事項 これまでの高齢者とかかわり方を振り返ることで高齢化社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	C 高齢者とかかわる 【知識・技能】 高齢化社会の現状や課題について情報収集、調査・研究をし、課題解決に向けて考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 要介護の高齢者と接する上で気をつけるべきことを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢化社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	D 社会とかかわる 【知識及び技能】 社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会福祉や生涯を通しての社会保障	・指導事項 暮らしの中の支えあい、ボランティア活動や地域社会でのさまざまな活動の意義について考える。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1 台端末の活用	D 社会とかかわる 【知識・技能】 社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 【思考・判断・表現】 社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させな	○	○	○	12

	制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとする。	課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	がら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 経済的に自立する 【知識及び技能】 家庭経済・国民経済などのしくみを理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済社会と家計との関係を考え、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとする 定期考査	・指導事項 生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・教材 教科書、ノート、パソコン ・一人1台端末の活用 課題を配信・回収、情報共有や意見交換などの協働的学習で活用する。	E 経済的に自立する 【知識・技能】 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考・判断・表現】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（1 学年用）

教科 農業

科目 農業と環境

教科： 農業

科目： 農業と環境

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者： 千葉 達弥

使用教科書： （ 農業と環境 「実教出版」 ）

教科 農業

の目標： 農業の各分野を学び、理解を深めることで社会を構築する職業人を育成する

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業と環境に関する課題を発見し、農業やの農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的に

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 1 章農業と環境を学ぶ 【知識及び技能】 農業学習の特徴や、プロジェクト学習の意義、及び方法と進め方、学校農業クラブについて理解し、活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 プロジェクト学習の意義を理解し、様々な研究方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 農業と環境について、自ら学び、プロジェクト学習を通して、学ぶ姿勢を身に付けようとしている。	・指導事項 学校農業クラブ連盟やプロジェクト学習について、身近な例と関連づけて取り扱う。 ・教材 教科書・ノート・ワークシート パソコン ・一人1 台端末の活用 課題掲示や授業連絡に活用する。また、調べ学習における検索ツールとしても活用する。	【知識・技能】 ①農業学習の特徴や学校農業クラブ連盟について理解している。 ②プロジェクト学習の特徴を理解し、適切に課題設定を行うことができるようになる。 【思考・判断・表現】 実習内容や学習内容から、研究方法を考え、適切に情報を選択し、まとめることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業学習を通して、農業に対して興味を持ち、疑問に感じたことを調べようとしている。	○	○	○	18
			ワークシート・農業実習・ノート	○	○	○	
	B 4 章栽培・飼育と環境のプロジェクト（トウモロコシ） 【知識及び技能】 トウモロコシの成長と生産について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 トウモロコシの育成と生産に関する課題を発見し、様々な観点から解決策を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 トウモロコシの成長や生産について自ら学び、活用しようとしている。	・指導事項 2つの品種を栽培することで、品種による生育過程の違いを学習させる。また、以前に学習したプロジェクトの手順を関連付けて学習を取り組ませる。 ・教材 教科書・ノート・ワークシート 実物（トウモロコシ） パソコン ・一人1 台端末の活用 課題掲示や授業連絡に活用する。実習で収集したデータをまとめさせる。	【知識・技能】 トウモロコシの概要や栽培特性を理解し、栽培管理について、適切に行うことができるようになる。 【思考・判断・表現】 トウモロコシの栽培における課題に対して、様々な観点から解決方法を思考し、まとめることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 トウモロコシの栽培方法や生育特性に対して興味を持ち、様々な内容を学ぼうとしている。	○	○	○	24
	定期考査		ワークシート・農業実習・ノート	○	○		1
2 学 期	C 2 章私たちの暮らしと農業・農村（1）人間と植物・動物とのかかわり 【知識及び技能】 暮らしのなかで、人間・植物・動物が農業や環境に対しての関わり方について、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 暮らしの中における環境問題に対して、農業の観点から解決策を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 暮らしのなかにおける人間・植物・動物の関わりについて学ぼうとしている。	・指導事項 地域の農業と環境の実態などの具体例と関連づけて取り扱う。 ・教材 教科書・ノート・ワークシート パソコン ・一人1 台端末の活用 課題掲示や授業連絡に活用する。調べ学習における検索ツールとする	【知識・技能】 環境と農業の関連性について理解し、説明することができるようになる。 【思考・判断・表現】 SDGs やESD の学習から、環境保全における課題に対しての対策を考えることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 暮らしのなかにおける人間・植物・動物の関わりについて学んだことを活用しようとしている。	○	○	○	24
			ワークシート・農業実習・ノート	○	○	○	

	D 4 章栽培・飼育と環境のプロジェクト（ダイコン） 【知識及び技能】 ダイコンの育成と生産について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイコンの成長と生産について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ダイコンの成長や生産について自ら学び、活用しようとしている。	・指導事項 2つの品種を栽培することで、品種による生育過程の違いを学習させる。また、以前に学習したプロジェクトの手順を関連付けて学習を取り組ませる。 ・教材 教科書・ノート・ワークシート 実物（ダイコン） パソコン ・一人1台端末の活用 課題掲示や授業連絡に活用する。実習で収集したデータをまとめさせる	【知識・技能】 ダイコンの概要や栽培特性を理解し、栽培管理について、適切に行うことができるようになる。 【思考・判断・表現】 ダイコンの栽培における課題に対して、様々な観点から解決方法を思考し、まとめることができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「ダイコン」の栽培方法や生育特性に対して興味をもち、学ぼうとしている。	○	○	○	36
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 2 章私たちの暮らしと農業・農村（2）農業と食料供給 【知識及び技能】 環境変化や農家の減少から、食料供給の変貌について理解し、今後の食料供給の在り方について説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食料供給への課題について、農業生産システムや農業経営などの様々な観点から解決策を考え、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 食料供給の変貌を理解し、安定供給について考えようとする。	・指導事項 食料生産・食料供給における身近な例を関連づけて、食料の安定供給に関して考えさせる。 ・教材 教科書・ノート・ワークシート パソコン ・一人1台端末の活用 課題掲示や授業連絡に活用する。調べ学習における検索ツールとする	【知識・技能】 環境変化や農家減少から、食料供給の変貌について理解し、今後の食料供給について学習したことと関連付けて説明することができるようになる。 【思考・判断・表現】 食料供給への課題について、様々な観点から解決策を考え、説明できるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 食料供給の変貌を理解し、安定供給について考えようとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：橋本 怜奈

使用教科書：（ なし ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。	情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A SSTワーク 【知識及び技能】 コミュニケーションのコツを身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 相手に内容をうまく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとる。	・指導事項 コミュニケーションチェックで得意・苦手を確認し、さまざまなコミュニケーション方法を扱う。 ・教材 プリント	【知識・技能】 コミュニケーションのコツを身に付けて、活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 相手に内容をうまく伝えるように工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションをとっている。	○	○	○	12
2 学 期	B 調べ学習レポート 【知識及び技能】 必要な情報を集めるために必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報を集め、整理・分析してまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・指導事項 1つのテーマについて調べ学習を行い、レポートにまとめる。 ・教材 プリント、レポート ・一人1台端末の活用 情報収集やレポートの作成で使用する。	【知識及び技能】 必要な情報を集めるために必要な技能を身に付け、活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報を集め、整理・分析してまとめ、表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
	C ブックトーク 【知識及び技能】 必要な情報を集めるために必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を整理・分析して、まとめ・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・指導事項 児童書を使用したブックトークを行う。 ・教材 プリント、児童書 ・一人1台端末の活用 情報収集や発表原稿で使用する。	【知識及び技能】 必要な情報を集めるために必要な技能を身に付け、活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
3 学 期	C ブックトーク 【知識及び技能】 必要な情報を集めるために必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を整理・分析して、まとめ・表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・指導事項 児童書を使用したブックトークを行う。 ・教材 プリント、児童書 ・一人1台端末の活用 情報収集や発表原稿で使用する。	【知識及び技能】 必要な情報を集めるために必要な技能を身に付け、活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 情報を整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組んでいる。	○	○	○	9
							合計
							35